

鎌倉駅周辺地区交通計画懇談会開催経過

段階	検討内容	調整・連携
準備期間	<p>平成 10 年 地元自治会、商店会へのヒアリング            鎌倉地域の地区交通計画の取り組み状況について説明            鎌倉駅周辺が抱える交通問題について、自由に討議</p> <p>平成 10 年 自治会と商店会双方が一同に会して意見交換</p> <p>平成 10 年 12 月 これからの話し合いの持ち方について提案            ・話し合いの会の設置について            参加メンバーの推薦を依頼</p> <p>平成 11 年 3 月 準備会の開催            ・話し合いの会の設置及び参加メンバーについて            ・会の目標と進め方について</p> <p>4 月 22 日 懇談会 第 1 回            ・鎌倉地域の地区交通計画について</p> <p>5 月 14 日 懇談会 第 2 回～先進事例の視察            品川区旗の台コミュニティゾーン整備地区</p> <p>5 月 24 日 懇談会 第 3 回～地域の交通問題の把握            3 つのグループ（7～8 名）に分かれてワークショップ形式での話し合いをスタート            第 3 回懇談会では日頃感じている地区の交通問題について意見を出し合う。            次の 2 つ取り組むべき課題を確認した。            歩行者の安全確保（歩道や道路の構造などの問題点）            自動車交通の適切な処理（渋滞や交通規制などの問題点）</p>	
課題・問題点の共有期間	<p>6 月 18 日 懇談会 第 4 回～道づくりのイメージづくり            第 4 回懇談会で出された交通問題の切り口に基づき、今小路通りの道づくりのイメージ（目標）について話し合う。</p> <p>歩行環境の改善            ・交通弱者に安全な道とする            ・誰にでもやさしく歩きやすい道とする            ・歩いて気持ちのよい道とする</p> <p>自動車交通の適切な処理            ・通過交通を少なくゆっくりと走る道とする            ・ゆっくりでもスムーズに走れる道とする            ・運転者に分かりやすい道とする</p> <p>などのイメージがあげられた。</p>	

段階	検討内容	調整・連携
将来計画（素案）の共有化期間	<p>平成 11 年 7 月 7 日 懇談会 第 5 回～目標実現の方法の検討            第 4 回懇談会で出されたイメージを実現するための交通制御(規制)の方法について話し合う。</p> <p>歩行者の安全が確保のためには『何らかの交通制御が必要である』ことを委員全員の共通の考えとして確認する。しかし、具体的な方法となると立場毎に考え方が異なり、急遽、懇談会をもう一度開催することとする。</p> <p>7 月 13 日 懇談会 第 6 回            3 つのグループから計 8 つの交通制御（規制）の案が提案される。また、『今小路通りの道づくりに関する基本的考え方』が合意される。</p> <p>8 月 5 日 懇談会 第 7 回～具体的な計画案の検討            具体的な道づくりのイメージ(将来計画案)について話し合う。</p>	研究会へ 状況報告
計画の効果や影響の確認期間	<p>8 月 23 日 懇談会 第 8 回～検証する実験計画案の策定            具体的な道づくりの考え方の効果や問題点を確認する実験計画案について話し合う。</p> <p>9 月 9 ・ 11 日 懇談会 第 9 回～今小路通りを考える集い            実験を行う前に、懇談会が提案した将来計画案と実験計画案について、地元の自由な意見を得るための集いを持つ</p> <p>9 月 20 日 懇談会 第 10 回～実験計画案の確定            『考える集い』で得られた地元の方々からの意見を基に、討議を進め 11 月の実験計画案について話し合う。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>11 月 13 ・ 14 日、20 ・ 21 日の週末の 4 日間  <b>歩行者尊重道路の実験を実施</b></p> </div>	警察など関係機関と調整
将来計画の作成期間	<p>平成 12 年 3 月 7 日 懇談会 第 11 回～実験結果の評価            実験における地元住民・商業者・歩行者などへのアンケートやヒアリング結果について話し合う。</p> <p>実験結果を踏まえ「歩行者がゆっくり安心して歩ける道」の実現に向けて提案の吟味進めることとした。</p>	地元への 実験周知

段階	検討内容	調整・連携
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">将来計画の作成期間</p>	<p>平成 12 年 8 月 9 日 懇談会 第 13 回 アンケート調査から得られた課題・効果の確認及び懇談会委員が感じたその他の課題・効果の把握、課題に対する懇談会の考え方を整理する。</p> <p>10 月 27 日 懇談会 第 14 回 課題・効果に対する懇談会の考え方にに基づき将来計画案の改善を話し合う。 何を改善すべきかを具体的に整理した。</p> <p>12 月 4 日 懇談会 第 15 回 改善すべき事項のまとめと、その事項を実現するために問題となる点を話し合う。 これと併せて、今小路通りの整備に関する基本的な考え方（方針）を話し合う。</p> <p>平成 13 年 1 月 18 日 懇談会 第 16 回 改善すべき事項を具体化するため、過去に作成した各グループごとの将来計画案（図面）を修正した。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ・報告書作成期間</p>	<p>2 月 27 日 懇談会 第 17 回 各グループごとに修正した将来計画案を全体会議にかけ、交通規制、歩行者・自動車の分離、速度抑制策別に効果的と思われる施策を話し合う。結果として、3つの交通規制案をベースとし、いくつかの歩行者・自動車の分離施策、速度抑制策を組み合わせる自由度の高い将来計画案を作成した。</p> <p>また、委員に対するアンケート調査により、今後の取り組み方針を確認した。</p> <p>これまでの議論の結果をまとめ、今小路通り歩行者尊重道路に関する提案（たたき台）を作成することとした。</p> <p>5 月 23 日 懇談会 第 18 回 今小路通り歩行者尊重道路に関する報告書（たたき台）について再度話し合いを行い、最終的な提案のまとめを行った。</p>	